

# 佐賀建設新聞

発行所  
株式会社 建設新聞社  
〒849-0301  
小城市牛津町乙柳1145-7  
TEL 0952-66-5750 (代)  
FAX 0952-66-5751  
購読料 月額5,775円(税込)  
毎週火・木・土曜日発行  
社団法人日本専門新聞協会会員  
ホームページ  
<http://www.kensetsunews.co.jp>  
e-mailアドレス  
kssaga@lime.ocn.ne.jp

## 工法技術講習会を開催

建設業者ら約200人が受講  
ミラクルソル協会



ミラクルソル協会(原裕理事長)は27日、福岡市中央区のアクロス福岡で第13回ミラクルソル工法技術講習会(CPDS認定)を開いた(写真)。官公庁職員、建設コンサルタント、建設業者の約200人が参加し、発泡プラスチックであるミラクルソルを活用した工法について理解を深めた。講習会はミラクルソル協会が主催、後援に廃棄物学会。

ワインビンなどの廃材を約900度で焼成して作る多孔質間隙構造のミラクルソルは、強固な軽量材料として、建設のさまざまな分野で活用できる。製造条件により0.3~1.5の比重、吸水・非吸水が調整可能で、吸水性・保水性に優れたものは屋上や岩盤斜面緑化用の保水材に、非吸水性のものは軽量盛土材・軽量骨材・地盤改良材の建設材料などに使用されている。これまでに環境緑化、環境土木、水環境

の3分野で20工法を開発している。

講習会の冒頭、原理事長は「ミラクルソルは岩盤斜面や屋上の緑化だけでなく水質浄化、水産養殖のろ過材としても用途を広げている。開発から10年経ち、ミラクルソル工法は国土交通省、全国の各自治体で活用してもらえるようになり、地球環境に配慮した環境保全

・保護、環境の創出といったところに結びつく工法と確信している」とあいさつした。

講習会では、原理事長が「ガラス廃材を再資源化した多目的環境材料―ミラクルソルを用いた環境土木技術―、ミラクルソル協会顧問佐賀大学低平地研究センター長の荒木宏之教授が「多機能性材料ミラクルソルが環境問題に果たす役割」と題してそれぞれ講演を行った。原理事長は、ミラクルソルの特徴をはじめ、環境土木分野の工法、新工法の「FWG&チューブ軽量土工法」などを解説し、「時代のニーズにあった良い工法を提供し続ける」などと話した。荒木宏之教授は「目的に応じた総合的な水管理が求められている中、高い浄化効

果、低廉、容易な維持管理を実現できるミラクルソルは、水質浄化の接点材として優れている」と述べ、環境問題に大きく貢献することを強調した。また、この日の講習会では、国土交通省九州地方整備局の久野隆博技術管理課長による「公共事業の現状と今後の取り組み」と題した特別講演も行われた。